

令和7年12月25日(木)  
石垣市立白保小学校  
TEL: 86 - 7840  
FAX: 86 - 7396



## 美しく輝く2026年に!!



早いもので今年もあとわずかとなりました。皆様にとって2025年はどのような年だったでしょうか。白保小では、子どもたちが主役になり、一人一人が輝けるための教育活動に取り組んできました。「自己肯定感」を高めるためと言ってもピンとこない方もおられると思いますが、要は「子どもに決定権を委ねる」ということです。あれこれ周りが口を挟むのではなく、「失敗も含めて自分で考え行動したことに責任を持たせる」ということが、これからの教育には必要不可欠です。来る2026年は丙午（ひのえうま）の年で、明るさと情熱がもたらされ、これまで見えていなかったことが可視化され、闇が払われるような明るい出来事が起こりそうな年になるそうです。さぶっ子が地域の皆様方のご支援の下、一人一人がさらに輝きを見せ、美しく、ぐんぐんと成長していく白保小学校になる年にしていきたいと思えます。皆様よいお年をお迎えください。

### ついに実現！体育館の照明がLED化されました

照明が点いているのが当たり前だと思っていた4月、16基中たった5基しか点いていない体育館の暗さに衝撃を受けました。これでは雨の日の体育はもちろん儀式も暗いままで「何とかしないといかん!」と思い、修繕を依頼するも何年も前から依頼はされているようで修繕は「いつになるのかわからない」のが現状でした。



それでも「電球を持って行くので交換してください」と言われた猛暑の8月半ば、教頭と汗だくになり交換作業をしましたが、それでも点いたのは全部で8基。35年も経てばこんなものかと納得するわけもなく、白保小の教育環境の現実を知ってもらいたくて行動を起こしました。クリアファイル&缶バッジ販売はそのためです。雀の涙ほどの資金にしかならない活動ですが、教育施設の老朽化の話が白保住民に伝わり、市議会でも取り上げられた（新聞にも載りました）結果でしょうか、動き始めたのです！

体育館と4年教室・保健室の照明のLED化だけでなく、旧校舎の外壁剥離や音楽室のカーペット、理科室の雨漏り等の修繕も今年度中または来年度中に改善されることになったのです！

24日(水)の午後には教育長も来校され、石垣市内では初!の「体育館照明LED化」による点灯式も行われマスコミの取材を受けることにもなりました。今日の終業式では、子どもたちにこの実現の喜びを伝えと共に「実際に行動を起こすことで何かが変わる」ということの事例を身をもって体験したことを伝えることができました。

### さぶっ子の活躍 各種大会の入賞

第30回冬季小学生バレーボール大会  
(11月1日)



【女子Aクラス】 白保バレーボールクラブ  
【グッドプレイヤー賞】 6年 大泊 小華

第33回闘球児スーパードッジ選手権大会  
(12月14日) 白保小チームの成績



【4年女子】優勝 さぶゴリ girls  
【5年女子】優勝 サブミニオン  
【5年男子】優勝 宿題ぼくめつ委員会  
【6年女子】準優勝 元気ノコ

※4年&6年男子チームは予選リーグ2位でしたが、僅差の得失点差で決勝に進めませんでした。



### 1月の行事予定



1日(木)元日

2日(金)マンタラーパレード・生年祝い

6日(火)3学期始業式 ※4校時授業給食あり

7日(水)校内書き初め会  
委員会活動⑨



12日(月)成人の日(公休日)

14日(水)クラブ活動⑦

15日(木)修学旅行(6年)1泊2日

23日(金)漢字検定②

29日(木)さぶっ子食堂 OPEN 7:30~



※白保っ子発表会・・・2月6日(金)

### スーパードッジ選手権大会

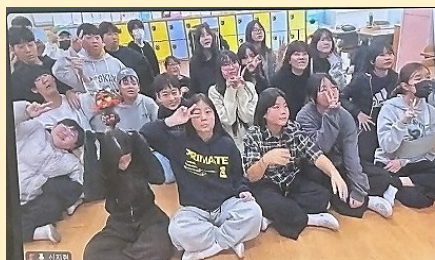
14日(日)に行われたこの大会、4~6年男女共にすべての部にエントリーしたのは白保小だけでした(4・5年女子の参加は1チームのみだったので両チームとも優勝は白保)多くの保護者に見守られ予選を勝ち抜いた、5年男子と6年女子が決勝に上がりました。相手はどちらも海星小で、どちらも予選では負けていた相手に再度決勝で挑みました。6年女子は、逆転ならず惜しくも敗れましたが、5年男子はみごとな連携で、海星小にリベンジを果たしての優勝!喜びもひとしおだったことでしょう。右下の画像は優勝した瞬間を撮ったものです



## 韓国チェジュ島とのオンライン交流

12・19 八重山毎日新聞より

12日(金)韓国チェジュ島の小学校とのオンライン交流を行いました。英語専科の古謝 環先生は登野城小でも指導していますが、クラスの人数が同じくらいの規模で1クラスしかない白保小の6年生を選び、今回の開催となりました。画面越しにお互いの国の衣食住の文化や、お互いの島と学校の紹介などが行われ、楽しい交流となりました。



画面越しの記念撮影（左がインファ小 右が白保小）

得意のヨーヨーを披露する米盛英人さん



Tシャツの紹介中

コンギに挑戦中の友利茅寿さん



学習した英語の知識を使って異文化や言語の違いを肌で感じようと白保小学校の6年生21人は12日午前、韓国チェジュ島の公立校・インファ小学校の6年生とオンライン交流を行った。

英語を教えている古謝環教諭が韓国で研修した際に、つながらず、授業が初めて実現した。

白保小

# 英語で地域の文化紹介

## 韓国の小学校とオンライン交流

児童らはスクリーンを「生活、校内にある「三本木」を使って、地域の文化や学校」（オオバアコウ、ガジユマ



韓国の小学生に向けてBEGINの「島人ぬ宝」を披露する白保小の児童ら＝12日午前、同校6年教室

ル、デイゴ」のマスコットキャラクター、クラスTシャツなどを授業で学んだ英語を使って紹介した。また、三線と指笛を使ってBEGINの「島人ぬ宝」をクラス全員で歌ったり、ヨーヨーを使った技を披露したりして盛り上げた。

韓国の児童に向けて、「休日は何をしているか」「学校生活での楽しい行事は」「全校児童は何人いるか」など、たくさん質問の声が上がった。教師と一緒に英語でコミュニケーションを図った。

最後に韓国の伝統的な遊び「コンギ」を教えるも、授業が終わった後も皆で遊び、強い関心を示した。

三線を演奏した宮良陽葵さんは「独学で家族に教えてもらいながら練習した。リズムを意識して弾き、チェジュ島の児童に披露できてよかった」と喜んだ。